

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立昭和中央小学校
(昭和中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	+1.0	-3.4
令和5年度	+6.8	-0.5
令和4年度	+2.4	-8.2

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 我が国の言語文化 情報の扱い方 全国平均 県平均 本校 70% 67.7% 69%	重点課題	◎資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。(設問1二(2)) ◎文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題がある。(設問3一) ◇文章の内容の読み取りにおいて、目的に応じて必要な情報を収集することに課題がある。
	改善の方策	◎資料や実物を用いて、自分の考えを伝える活動を設定する。その際に発表者の指示語が何を指しているのか丁寧に確認する。 ◎主語と述語の関係性を理解させるために、接続する語句の役割が明確になるよう語句と語句を線でつないだりするなどの図示する活動を取り入れる。 ◇文章の全体をとらえ、キーワードを探しながら読む力をつける学習活動を組み入れる。
	検証	◎全国学力設問1二(2)類似問題(第5、6学年 2月) 目標70%→88% ◎全国学力設問3一類似問題(第3～6学年 2月) 目標70%→92% ◇全国学力設問1(第5、6学年 2月) 目標70%→92%
算数 数と計算 図形 変化と関係 データの活用 全国平均 県平均 本校 60% 63.4% 64%	重点課題	◎速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することに課題がある。(設問4一(2))【変化と関係】(正答率54.4%) ◎道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。(設問4一(3))【変化と関係】(正答率23.3%) ◇事象についての数量関係を捉え、その関係を図や式で表し、解き進めることに課題がある。
	改善の方策	◎答えの見通しをもたせたあとで、図等を用いて数量の関係に着目して考えさせる。さらに、速さの概念を身近な経験と結び付けて理解させる。 ◎日常生活に関する問題解決を丁寧に行う。数理の処理だけではなく、解決の道筋を説明させるようにする。 ◇図や式、文章に着目させて数量関係を捉える活動を通して、解法への筋道を理解させる。
	検証	◎全国学力 設問4(2)類似問題(第6学年 2月) 目標70%→79% ◎全国学力 設問4(3)類似問題(第6学年 2月) 目標70%→76%

【来年度に向けて】

- ・今後もキュビナを活用して、知識・技能の定着を図る。
- ・算数科では、図や式、文章に着目させて数量関係を捉えたり説明させたりすることに重点を置く。
- ・国語科では、文章の全体をとらえ、キーワードを探しながら読むことに重点を置く。